

# 尊光寺報

第146号  
令和8年7月

徳島県阿波市市場  
町大野島字天神41  
尊光寺

## 住職退任の表明 住職継職法要を来年の五月一日に

本年、五月一日の門徒総会におきまして、住職顕信は尊光寺住職を退任する意向を皆さまに報告致しました。

特段、健康上の問題はありませんが、氣力体力の元氣な内に寺務などの責任を次の世代に継ぎ、円滑な引き継ぎを行いたいようであります。これまで通り、法事にも参りますのでご安心下さい。どうぞこれからも「前住職に」とご指名下さい。

顕信住職は昭和31年1月生まれの70才。龍谷大学真宗学科を卒業の後、本願寺勤式指導所を経て、尊光寺に帰った。当時は戦没者の回忌法事の時期と重なり多忙であったように、法事を早朝から夕方まで何件も回ることも少なくなかったようである。その後、法事の件数も落ち着いたが、今度は我々子どもの子育てにも追われた。寺では境内の石垣堀、本堂の改築、書院改築、庫裏改築と伽藍の整備を着実に進めていった。

先代住職の信乗が高齢になって何度か住職継職の話があったが、結局、信乗住職は亡くなるまで住職にあった。顕信は副住職にありながら、実質は寺務の一切を引き継いでいたが、それでも住職死亡後の継職は手続きが面倒であったのか、この度は、元氣な内にとの思いがあるようである。

まだまだ、70代。これからも皆さまと共に念仏の道を歩んでくれることでしょう。

一方、新住職の私、信映は昭和60年2月生まれの41才。龍谷大学大学院、宗学院、本願寺総合研究所を経て、尊光寺に戻り、現在は妻と共に3歳児、0歳児の育児に追われ、多くの皆さまの支えをいただきながら日々を過ごさせて頂いている。

住職継職は、尊光寺役員会の承認を経て、ご本山に進達、先日、ご本山から住職就任認可を頂いたところである。今後、所管庁法務局への申請、本山での住職補任式、住職継職法要と、手続きや行事が続きます。

住職の交代を仏祖に報告する住職継職法要は、門徒総会で提案したように、来年の5月1日（土曜日）に行います。継職法要は、近隣の寺院を招き、雅楽の演奏の入ったお勤めを予定

定。

継職を祝い、法要には稚児行列も募集する予定です。0才から小学生（150cmくらい）までのお子さまの参加をご予定下さい。募集詳細は9月の寺報とともにお届けしますが、先だつて、お子さま、お孫さまにお知らせ下さい。



## おかげさまで本堂にエアコンが入りました

前号で、本堂にエアコンを導入したいとお知らせしましたところ、篤信のご門徒である矢野兵治さんより、エアコン五基のご寄進を賜りました。ここに厚く御礼を申し上げます。

設置工事も終わり、さつそく暑い日にお参り下さった方から、「気持ち良くお参りできるねえ」と、うれしいお声が聞かえてきました。

矢野さんは、阿波市吉野町のご出身で現在は奈良県にお住まいになり、株式会社阪奈富士システムという空調設備などを手がける会社を経営されています。寺報を見られて、これは是非とも、いち早く寄進を申し出て下さいました。顧みますと、矢野さんはずいぶん前にも本堂に大型ストーブを寄進して下さいましたことがあります。尊光寺を大事に思つて下さり、お寺の冷暖房環境をはじめ、細かなことまで大変気にかけて下さっております。

追記：矢野兵治さんは、本堂に何度も足を運び、エアコン設置を見守つてくださいました。が、工事完了の幾ばくならずして急逝、ご往生されました。まことに諸行無常を思い知らされることであります。謹んで哀悼を示し、ご厚情に深く深く感謝申し上げます。合掌称名。



## 法要・行事のご案内

◎お寺に落語家さんがやっています！

【7月17日（金）】午後4時より落語一時間程度

落語家 柳家平和（やなぎやへいわ）さん

演目 怪談噺

料金 投げ銭

どなたさまでもご参加いただけますので、お誘い合わせてお越し下さい。子どもも大人も大歓迎です。

小学生からおとなの  
**怪談噺の会**  
かいだんばなし

料出 金・投げ銭制  
演 柳家平和  
◎保護者の方、地域の方もご参加いただけます  
お問合せ☎080-6509-5854

2026年  
7月17日（金）ひる4時はじまり  
徳島・阿波市／尊光寺  
徳島県阿波市市場町大野島天神41 Tel.0883-36-3026

2026年  
7月18日（土）夕方5時はじまり  
香川・三豊市／光昭寺  
香川県三豊市高瀬町下藤975 Tel.0875-74-6280

2026年  
7月20日（月）夕方5時はじまり  
高知・高知市／要法寺  
高知県高知市幸山町8-5 Tel.088-831-6247

2026年  
7月21日（火）よる7時はじまり  
愛媛・西条市／興雲寺  
愛媛県西条市小松町明徳674 Tel.0898-72-2937

**柳家平和**  
やなぎやへいわ  
師今松風一門 六代目 柳家小さん 門下  
生年月日●1990年6月13日  
出身地●埼玉県川口市

※2009年7月、前座となる。前座名「柳家いっばん」  
2013年11月、二ツ目に昇進「二代目 柳家かある」を襲名  
2015年、川口市観光大使に就任  
2023年4月、ブリス班報コロンネル賞 落語部門グランプリ受賞  
2023年9月、真打昇進「二代目 柳家平和」を襲名

◎孟蘭盆会法要

【8月15日（土）】午後6時より お勤め

過去帳・お位牌などをお持ち頂くと、ご安置してお勤めいたします。

※初盆参りは、日程を調整のうえお参り致しますので、初盆のご家庭は、お寺までご連絡ください。

◎秋の彼岸会（永代経法要）

【9月23日（水・祝）】午後1時より法要 法話

【9月24日（木）】午後1時より法要 法話

※24日は仏教婦人会お接待を兼ねます。会食は11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

両日とも、どなた様もお気軽にお参りください。

法話講師：津守秀憲師

（本願寺派布教使 神戸市徳本寺）

お彼岸とは、さとりひがんの岸、阿弥陀さまの極楽浄土ごくらくじょうどのことです。お念仏を申し先立つた方々を偲び、この私も同じ念仏に出会い浄土へ参る人生を送っていることに思いを寄せましょう。

ご講師の津守師ははじめてのお越しです。副住職とは、ご本山の勉強会とともに学ばせて頂いたり、皆さまとは、大谷本廟ほんびやうのご法話のご縁で会ったことあるお方です。若手の布教使さんで、分かりやすく仏さまのお慈悲を伝えて下さいます。どなたさまも、お繰合せ、お誘い合わせ、お参りください。お待ちしております。

## 正信偈講座④

(赤い経本二一ページ)

得至蓮華藏世界 即証真如法性身  
遊煩惱林現神通 入生死藺示応化

【訓読】 蓮華藏世界に至ることを得れば、  
すなはち真如法性の身を証せしむと。  
煩惱の林に遊んで神通を現じ、  
生死の園に入りて応化を示すといへり。

【現代語訳】 阿弥陀仏の浄土に往生すれば、  
ただちに真如をさとった身となり、  
さらに迷いの世界に還り、神通力をあらわして、  
自在に衆生を救うことができると、述べられた

前回は、「帰入功徳大宝海 必獲入大会衆数」の部分で、阿弥陀さまのお慈悲に出会った者は、必ず浄土に生まれ仏となることが定まった仲間であるというお話をしました。

今回はそれに続く所で、このいのち終わって、仏さまのさとの世界である浄土に生まれたならば、仏のさとりをひらき、迷える者を救うために娑婆世界に帰ってくるという部分に入ります。

「蓮華藏世界」とは、阿弥陀如来のさとりきようちの境地、極楽浄土じやうどのことです。お経には、我々が浄土に生まれるときには、

浄土の池のハスの花(蓮華)の上に生まれてゆく、と説かれています。ハスの花は仏教によく登場する花で、よく譬喩に使われます。ハスは田んぼのような泥の中で成長し、つぼみを泥から上げて花を咲かせようとしています。しかしながら咲いたその花には泥がつかず、美しい姿を見せてくれます。私たちがどれほど煩惱にさいなまれた一生を送ろうとも、浄土に生まれ行くときは、煩惱の穢れのない仏として生まれ行くことをあらわすようです。

「真如法性」とは、仏さまのさとのことを表す言葉です。「真実のあるがままの相」ということでしょうか。私たちは自己中心的な思いによつて「好きだ嫌いだ」と世界を歪めて見えています。虚仮不実と言われる世界です。本当は分け隔てのない真如法性のすがたのハズなのですが、煩惱の眼が閉じない限り見えてくることはありません。

「即証」とありますから、ただちに、ということですね。お浄土に生まれると同時にということです。念仏に出会った者は、このいのち終わるとき、阿弥陀仏のはたらきによつて、煩惱の眼が閉じ、さとの眼が開けてくるということです。ですから死ぬと言うことは決して無駄なことではなく、仏として生まれ行く素晴らしいことであるのです。

とは言え、まださとの世界へは行きたくありません。仕方の無いことです。まだ見たことの無いさとの世界よりも、苦悩であつても慣れ親しんだ娑婆世界が恋しいと思わせるのも煩惱のはたらきなのです。親鸞聖人も、「苦悩の旧里はすてがたく、いまだ生れざる安養の浄土はこひしからず候ふ」とおっしゃつたと、記録されています。そんな煩惱の盛んな私を目当てとして起こされた阿弥陀さまのお救いなのです。

いかにジタバタしようとも、しがみつこうとしても、必ず連れて行くぞと、はたらいてくださいる仏さま、それが阿弥陀さまなのです。



## 副住職担当、徳島新聞カルチャー教室のご案内

各講座、受講生募集中です。

### 仏教講座『正信偈(しょうしんげ)』

「きみようむりようじゆによらい」。浄土真宗で一番よく親しまれてきた「正信念仏偈」をテキストに、インドから中国、日本へと伝わった仏教の教え、念仏とは何かを一緒に学んでまいりましょう。

●毎月第3金曜日 10時半～12時 月額 3300円

### 親鸞聖人と『歎異抄(たんにしやう)』

「悪人こそが救われる!」「歎異抄」には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がまつています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわつてまいりましょう。

●毎月第2月曜日 13時半～15時 月額 3300円

### 【教室・申込先】

徳島新聞カルチャーセンター 徳島本校

徳島市寺島本町西1-5 アニコ東館7階

TEL 088-611-3355



## 令和8年 年忌表

令和8年の法事と亡くなった年

|       |             |
|-------|-------------|
| 1周忌   | 令和 7(2025)年 |
| 3回忌   | 令和 6(2024)年 |
| 7回忌   | 令和 2(2020)年 |
| 13回忌  | 平成26(2014)年 |
| 17回忌  | 平成22(2010)年 |
| 25回忌  | 平成14(2002)年 |
| 33回忌  | 平成 6(1994)年 |
| 50回忌  | 昭和52(1977)年 |
| 61回忌  | 昭和41(1966)年 |
| 100回忌 | 昭和 2(1927)年 |
| 150回忌 | 明治10(1877)年 |
| 200回忌 | 文政10(1827)年 |
| 250回忌 | 安永 6(1777)年 |
| 300回忌 | 享保12(1727)年 |

過去帳やお位牌をご覧ください。

小学生からおとなの

# 怪談噺の会

かいだんばなし

かい

料 金 ● 投げ銭制  
出 演 ● 柳家平和

©保護者の方、地域の方もご参加いただけます

お問合せ ☎080-6509-5854



2026年

7月17日〈金〉ひる4時はじまり  
徳島・阿波市／尊光寺

徳島県阿波市市場町大野島天神41 Tel.0883-36-3026

2026年

7月18日〈土〉夕方5時はじまり  
香川・三豊市／光照寺

香川県三豊市高瀬町下麻975 Tel.0875-74-6280

2026年

7月20日〈月〉夕方5時はじまり  
高知・高知市／要法寺

高知県高知市筆山町8-5 Tel.088-831-6247

2026年

7月21日〈火〉よる7時はじまり  
愛媛・西条市／興雲寺

愛媛県西条市小松町明穂674 Tel.0898-72-2937

柳家平和

やなぎやへいわ

鈴々舎馬風一門 六代目 柳家小さん 門下

生年月日●1990年6月13日

出身地●埼玉県川口市

芸 歴●

2009年7月、前座となる 前座名「柳家いっぽん」

2013年11月、二ツ目に昇進「二代目 柳家かゑる」を襲名

2015年、川口市観光大使に就任

2022年4月、プリモ芸術コンクール落語部門グランプリ受賞

2023年9月、真打昇進「二代目 柳家平和」を襲名